

富士山須走!五合目移動! 1.2G~47G

de JH1UGF

5月9日(日)早朝より, JA1, JA2 14局富士山須走!五合目(2,000mH)に集合しての移動実験を行いました。天気はまずまずの晴天で, 風が少々, 湿度がちょっと高めでしたが,
47GHz 150km 挑戦はコンディションのせい今回は不発でしたが, 近じか又トライするということでした。

24GHzでは

福島/宮城県境の八溝山(950mH)移動の JH1EWN 深谷さんと
約220kmの交信に成功でした。

湿度が高めのために, 大気の様子によるのか QSB が激しく,

S ~ 59+30db の信号強度の変化があって

パラボラANTの方向合せに手間取りました!

富士山移動 24GHz 実験局

JA1FS, JA1ELV, JH1UGF, JS1UVH の4局が交信に成功でした!

筑波山移動の24GHz局 JA1LUI, JG1MFR の2局とも 富士山各局と交信成功でした
約150kmでした。

他に2.4G 5.6G, 10Gでも皆さん大活躍で,
にぎやかな1日でした。午後は持ち寄りの材料での
バーベキューと冷えたビールで懇親会で
盛り上がりました! 参加の皆さん, お相手戴いた各局,
有難うございました。近いうちに, 又富士山からの
移動会を行いますので そのときもよろしく!



参加局 JA1FS, JA1ATI, JA1ELV, JH1FKT, JH1JK, JH1JK, JH1UGF, JE1XHP,
JS1UVH, JE2DVK, 7L1WQG, JG2GM, JG2GAY, 他一名 合計14局でした。

移動風景写真 添付します。

JH1UGF/横岡 寛幸 E-Mail makiugf@mx1.alpha-web.ne.jp



2GHz 簡易スペアナの製作

de JE2VVN

5月の連休前に, 岐阜 JA2DVW 高田 OM からこのようなおもしろい物が Kit でありますとの話を聞き, 早速, 注文, 製作をした物がこれです。

PCのPrinter シリアルポートとDataをやり取りしながら, 2GHzまで動作する簡易スペアナと
1.4GHz-2.0GHzのトラジェネです。

大まかな構成は

A: 3MHz-1200MHzを1400MHz-1600MHzへのUP-Conv.

IF=VCO(1.4G-2.6GHz) - RF

B: 1000MHz-2000MHzを480MHz-600MHzへのDown-Conv.

IF=VCO(1.4G-2.6GHz) - RF

C: 480MHz-600MHzを最終IF 10.7MHzへの変換と信号をLOG変換

の3つのTVチューナーを改造した特注部品と, それらのGainをコントロールする, D/A変換, 信号表示のためのA/D変換, また, VCO-PLLをコントロールし, PCとのやり取りをするPIC-ICの構成です。
PIC-ICのEEPROMにPCから制御プログラムを書き込み, PCが受け取ったDataを画面に表示させるといふのです。

仕様は 2GHz までで、最大入力 -20dBm、周波数の Span は 12.5MHz の整数倍のみで、800MHz までです。1 回の Span は 500-Step 構成で、周波数の Step は 25KHz であることから最小の Span が $500 \times 25\text{KHz} = 12.5\text{MHz}$ となります。

1- Step の取り込みに 500usec 必要ですので、12.5MHz Span で 1-Scan に 250msec 必要です。800MHz Span だと sec となります。

信号はチューナー Module の周波数特性が測定されており、その Data を基に、信号強度の表示が直線に成るようにしてあります。

その後調査で、この Speana は 100Khz Step で測定するよう

25MHz Span では $25000/100$ で 250 point 1-point で 500nsec なので $250 \times 500\text{nsec} = 125\text{msec}$

800MHz Span では $800000/100$ で 8000point $8000 \times 500\text{nsec} = 4\text{sec}$ になります。

800MHz の場合には pc の表示は 1600KHz の幅の Data の Max 信号を表示しています。

すなわち PC では 500point の表示しかしません。理解しにくいですが、Span の周波数と時間が分かれば OK です。

(DVW 高田 OM のところで TEST しましたが、そこそこの直線性でした)

詳しくは 下記の Home-Page に有ります。

<http://www.ylw.mmtr.or.jp/~aoyama/Hide/GigaSt.htm>

すでに数十名の方が製作をされたとのことで、価格は 20K 円です。

私は青山さんご本人と会うことが出来ました。苦労したのは、PIC への書き込みと PC との相性が有り当初、Pentium-100MHz で書き込みを Try しましたが、結局、120MHz 以上でないと書き込みが出来ないことが判明し、何回も製作者(青山さん)とやり取りをしたことです。その他は部品も少なく、製作に大きな問題は有りません。参考に本体の画像と 1280MHz の信号を受けたときの画面を添付します。

以上 最後にご紹介いただいた JA2DVW 高田 OM に TNX

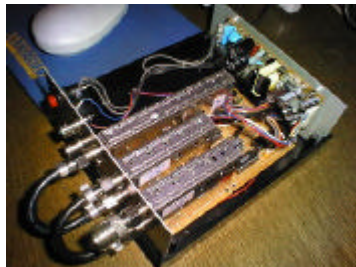
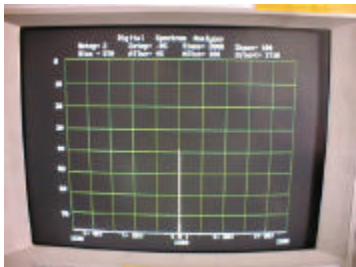
Speana の追加情報です。

Windows 版の Soft が出来ました。といっても 4/5 に出来たのですが、気が付きませんでした。

福島の方が(Ham の方です)作られました。すごい!

Tetsuhiro Inoue (JE2VVN ex JA9VXP) E-Mail:tinoue@sannet.ne.jp

1732-1 Furuhashi Sunami-choy Motosu-gun Gifu 501-0322 JAPAN



U, SHF, EHF オンエア ミーティング へのお誘い!!

U, S, EHF オンエアミーティング の実施の要綱

実施日時 - - - - - 毎週 水曜日 午後 8:00 から 10:00

使用周波数 - - - - - 2425.20MHz 霞ヶ関ビル

1292.76MHz 川崎堀の内

ミーティング進行係 - - しばらくの間は、JH1UGF, JH1JK 他 YAMA会会員 が行きます。

実施目的

U, S, EHF アマチュアバンドの活性化と、これらのバンドユーザー各局の親睦を図り、お互いの情報交換によりアマチュア局運用上のソフト、ハード技術のレベルUPを目的とし、さらに JA アマチュア無線発展に少しでも貢献できる事を願って、このミーティングを実施いたします。

このオンエアミーティングはレピ-タ-を使用して 関東一円の U, SHF, EHF バンド愛好者全員を対象としていますので、皆さんの奮っての参加を期待しています。

ミーティング進行方法

しばらくの間は、開始時間 (PM 8:00) に、進行係が、まず声を出しますから、地域、順番は特に指定しませんので都合の良い時間、にだれでも結構です進行係を CALL してください。

QSOの内容は

なんでも構いません,近況報告,技術相談,移動情報,スケジュール情報,1.2GHz,2.4GHz 5.6GHz,10GHz,24GHz,47GHz,75GHz 各バンド近況,講習会情報,ロールコール状況,コンテスト情報,インターネット情報,ホームページ紹介,自作製作情報,半導体,部品,ジャンク情報.....etc
* * 進行方法は始まったばかりで,まごまごすると思いますが,皆さんのご意見を参考に少しずつ改善していきますので,積極的なご意見をお寄せください!

DE Y.A.M.A U,SHF オンエアミーティング 実行委員会

楽しい話題 作っておいて,オンエアミーティングで話してください!! J1UGF/榎岡 寛幸
E-Mail makiugf@mx1.alpha-web.ne.jp URL http://w1.alpha-web.ne.jp/~makiugf

Phase-3D打ち上げ契約に向け大きく進展 May/19/1999 de JA3GEP/6

Phase-3D 打ち上げ準備状況のアップデート

最近情報が無くて心配していましたが、Phase-3Dの打ち上げに関し進展がありある打ち上げ機関と近い内に契約できる可能性が出てきています。AMSAT-NAの公式ニュースリリース PHASE 3-D LAUNCH STATUS UPDATE (SB SAT @ AMSAT \$ANS-136.01) を、翻訳したものです。 JA3GEP/6 毛利

AMSAT News Service から、AMSAT のもっとも野心的なプロジェクトPhase-3D 打ち上げの進捗についての、嬉しいお知らせです。

AMSAT-NA の会長 Keith Baker- KB1SF は、AMSAT-DL 会長でありPhase-3D プロジェクトリーダーである Dr.Karl Meinzer DJ4ZC からの 5 月 14 日付の手紙を、公表しました。この、ドイツでのハムベンション参加者へ当てた手紙で、Phase-3D 国際協力衛星の打ち上げに向けた最新の状況が報告されました。

ハムベンション参加者の皆さんへ! 1999 年 5 月 14 日

判って頂けるでしょうが、皆さんと 1999 年ドイツ ハムベンションに参加できることを、私は非常に楽しみにしていました。けれども、最近になって Phase-3D 打ち上げの状況が進展したため、ハムベンションの期間中、わたしはドイツを離れることができなくなりました。多くの方がご存知のように、AMSAT-DL は、Phase-3D を安全に、かつ、手ごろな予算で打ち上げることに、主たる責任を負っている団体です。このプロジェクトが開始されて以来、われわれは European Space Agency (ESA)による Ariane-5 のテストフライトの一つによって打ち上げてもらう機会を確保していました。

残念ながら、この Phase-3D を打ち上げるといふ ESA との打ち上げ契約は、Ariane-5 1 号機の失敗とその余波の為、機能しませんでした。ESA はもはやそのような打ち上げ(デモンストレーション・フライト)を実行することはありませんので、私たちのチームは、この数年間以上にわたり他の打ち上げの機会を求めて必死に働きかけてきました。多くの異なった打ち上げ機関と忍耐強く交渉を進めてきましたが、ようやくその結果が実りはじめ、努力の報われるときが来ようとしています。

ここで皆さんに、これら打ち上げ機関の一つと Phase-3D 打ち上げに関する詳細な契約締結の最終段階にあることを報告できることを、大変嬉しく思います。現在のところ、わたしは楽観的で、この機関はわれわれに Phase-3D を打ち上げる機会を提供する方向で真剣に取り組んでくれていることと信じています。さらに、われわれの同意できる内容の契約が、数週間以内に締結されると期待しているところです。この機関は、本来のペイロードに加え、Phase-3D も搭載できる性能に余力のある、来年あるいはそのあたりの打ち上げ機会を、いくつか指定してきています。

衛星打ち上げビジネスは最近非常に競争が激しく、半年以上先の打ち上げ計画を決めることは不可能に近くなっています。ですから、われわれの契約が締結されても「空席待ち」の乗客であることには違いがありません。しかし、現在判明している計画から判断して、ひょっとすると、ここは強調しておきたいのですが、今年 1999 年の 10 月に打ち上げられるかもしれません。もちろん、まだ残っている打ち上げ機との詳細なインターフェースの問題がうまく解決し、契約の最後の土壇場で問題が生じるといったことも無い、と仮定しての話です。

この事態の進展を、私は非常に喜んでいますが、唯一残念だったのは、この知らせを、皆さんとドイツで共有できなかったことです。ハムベンションでの AMSAT フォーラムが成功裏に進むことを期待しますとともに、我々の努力への皆さんの忍耐と強力なサポートに感謝します。 73,

Dr. Karl Meinzer, DJ4ZC AMSAT-DL President and Phase 3-D Project Leader